

日米共同指揮所演習粉碎！

東富士(2/14)北富士(2/15)連続肉争決起



日刊 動労千葉

82,2,20

No. 973

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆)〇四三(二二)七二〇七

二月十五(十九)日、アジア・中東へのむき出しの侵略実戦訓練として、米軍と自衛隊の指揮官ら千五百人を動員した「日米陸軍合同指揮所演習」が、東富士の陸上自衛隊・滝ヶ原駐屯地で強行されました。侵略と戦争準備に反対し、先祖伝来のかけがえのない生活の場へ入会地を政府・防衛庁・自衛隊から奪いかえす闘いを、すでに三七年間の永きにわたって闘い続けている北富士・忍草母の会は、この露骨な挑戦に怒りをもち、全国総決起集会を呼びかけました。

北富士・忍草母の会の呼びかけによる「日米共同指揮所演習粉碎、東富士道路建設阻止、入会地死守、富士をバラ線ではばるな、2・15北富士総決起集会」に、動労千葉は青年部を中心として、前日の総評等による抗議集会(東富士)に続く連日闘争として、早朝よりバス一台をもって参加し、寒風について早朝出発―夜帰着の闘いを貫徹しました。

「絶対に引かなければ必ず勝てる」

37年間闘う忍草農民

自衛隊舎前に、ドンと構えて対峙し続ける「母の会の団結小屋」前広場で、富士から吹き降ろす寒風にもめげず、集会は熱気をもって開始されました。

冒頭あいさつに立った天野美恵さんより、「忍草母の会が三七年間闘い抜いてきたのは敵のさまざまな攻撃に絶対屈しない、非妥協の闘い。絶対に引かなければ必ず勝利できる」と固い決意が述べられました。各戦線からそれぞれ報告をうけ、三里塚反対同盟からは婦人行動隊長の長谷川たけさん以下三名が参加し、「この間、全国の皆さんに御心配をかけたが、もう大丈夫。今後も空港絶対反対・農地死守の同盟の基本路線を堅持して闘い抜く」と決意を表明しました。

動労千葉からは、吉岡組織部長が、今日の急ピッチな軍事大国化攻撃、その最頂点で闘われている三里塚二期決戦―北富士闘争の重要性を訴え、「今後も三里塚を軸に、全国の闘う農民との労働連帯を一層強めて闘い抜く」と決意をあきらかにしました。

本格的な侵略大演習を、この富士でやらしてはならない

母の会・渡辺会長が基調報告

忍草母の会の渡辺喜美江会長から、基調が提起されました。「二月十五日から五日間にわたって強行される

日米共同指揮所演習は陸の日米共同演習で日米あわせて千五百人でおこなう、指揮官を中心に行う凶上演習である。この演習の上に立って、今日帝が狙っているのは三軍統合の侵略大演習自衛隊の実戦部隊化である。この一月、自衛隊と米軍は、ついに『極東有事研究』にのりだしふたたびアジア・朝鮮への侵略戦争準備を開始した。三七年間、ここで闘う忍草農民の闘いは敵の計画にとって決定的な障害となつていく。だから、国家権力、県当局、右翼の妨害・襲撃が激化している。どんな攻撃にも屈しない強固な団結で闘い抜いている忍草母の会、入会組合をつぶすために今度は東富士有料道路建設をもち出してきた。三里塚・沖繩・全国と連帯してこの北富士で最後の勝利の日まで闘いぬく。」と述べ、全体の拍手でこれを確認しました。

三里塚―北富士闘争の勝利を！労働連帯の力で戦争への道を断ち切ろう

総決起集会では、国道一三八号線で商店会二五戸を代表して、「私達は忍草母の会と共に一緒に闘っていく」との発言もありました。集会の圧倒的成功を勝ちとったのち、この日挑発的にもわれわれの目の前において実演演習を行なうという自衛隊の悪虐・暴挙に対して、忍草農民を先頭に、自衛隊隊舎にむけ、怒りのシュプレヒコールと抗議デモをたたきつけ、この日の闘争を終了しました。

帰りの車中において、ある青年部員が、「どこへ行っても動労千葉に対する期待がひしひし感じられた。」「自分もこれから頑張らなければならぬ」と思った」と感想を述べていました。こうした戦争への道を阻止する中心軸こそ三里塚二期決戦に勝利する事です。そのために、三里塚・北富士・日本原・沖繩との連帯・共闘をさらにうち固め、闘い抜こうではありませんか。